

Mizuho Daily Market Report

2023/6/14

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	139.49	140.22	+0.62	+0.59
EUR	1.0799	1.0793	+0.0036	+0.0100
AUD	0.6776	0.6767	+0.0016	+0.0096
SGD	1.3406	1.3423	▲0.0013	▲0.0063
CNY	7.1516	7.1662	+0.0198	+0.0486
MYR	4.6164	4.6150	▲0.0048	+0.0065
THB	34.55	34.55	▲0.05	▲0.25
IDR	14862	14860	▲5	+0
PHP	55.94	55.95	▲0.09	▲0.29
INR	82.38	82.38	▲0.06	▲0.23

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.813%	+7.8 bp	+15.3 bp
日本(10年)	0.425%	▲0.6 bp	▲0.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.423%	+3.5 bp	+5.1 bp
オーストラリア(5年)	3.794%	+0.1 bp	+17.7 bp
シンガポール(5年)	3.004%	+1.0 bp	+8.8 bp
中国(5年)	2.412%	▲1.7 bp	▲2.2 bp
マレーシア(5年)	3.524%	▲1.0 bp	+3.5 bp
タイ(5年)	2.260%	+4.4 bp	+6.4 bp
インドネシア(5年)	5.909%	▲4.3 bp	▲11.9 bp
フィリピン(5年)	5.668%	▲0.8 bp	+0.0 bp
インド(5年)	6.935%	▲1.6 bp	+2.7 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,212.12	+0.4%	+1.9%
N225(日本)	33,018.65	+1.8%	+1.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,347.55	+0.7%	+1.2%
ASX(オーストラリア)	4,151.46	+0.3%	▲0.4%
FTSTI(シンガポール)	3,189.40	▲0.2%	▲0.0%
SSEC(中国)	3,233.67	+0.1%	+1.2%
KLSE(マレーシア)	1,380.61	▲0.4%	▲0.2%
SETI(タイ)	1,562.40	+0.7%	+2.2%
JKSE(インドネシア)	6,719.014	▲0.0%	+1.5%
PSE(フィリピン)	6,507.26	+0.0%	+0.4%
SENSEX(インド)	63,143.16	+0.7%	+0.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	260.81	+1.5%	+0.1%
金	1,943.74	▲0.7%	▲1.0%
原油(WTI)	69.42	+3.4%	▲3.2%
銅	8,450.00	+2.0%	+1.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	138.60	—	141.00
EUR/USD	1.0730	—	1.0870
AUD/USD	0.6710	—	0.6920
USD/SGD	1.3320	—	1.3520
USD/CNY	7.1400	—	7.1890
USD/MYR	4.5800	—	4.6700
USD/THB	34.18	—	34.77
USD/IDR	14800	—	14960
USD/PHP	55.70	—	56.30
USD/INR	82.15	—	82.79

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は139円台半ばでオープン。公示仲値決定のタイミングにかけ小幅に上昇するも、米CPIを控え上値追いつきはならず反落。その後、139円台前半では下げ渋り、午後に入ると33年ぶりに日経平均株価が3万3千台を回復したこともあり、ドル円は139円台半ばまで値を戻し海外時間へ渡った。

アジア通貨はまちまち。米CPIの発表を米州時間に控える中、方向感なく推移。人民元は海外時間入り後に中国中銀が7日物リバースレポ金利とSLF金利を引き下げたことを発表した。

海外時間のドル円は、139円台半ばで米州時間入り。発表された米5月コアCPI(前月比)は引き続き高い伸びとなったが、ほぼ予想と一致したことから7月の利上げ期待が後退し、139円台前半まで下落。売り巡後、米経済紙記者が「5月のCPI結果を受け、超短期的な見通しが変わらず、明日は据え置きが予想されるが、四半期毎の見直しにはもう1回の利上げがベースシナリオになる」と報じたことから、米金利が反転上昇。これに連れてドル買戻しの展開となり、140円台まで上昇。米州時間午後は米主要株式市場が軒並みに堅調な展開が支えとなり、140円台前半まで上昇幅を拡大。その後、明日米6月FOMCを控え様子見ムードとなり同水準でクローズ。

【金利】

金利市場は、中期で特に金利上昇となり、イールドカーブはフラット化した。米州時間朝方に発表された市場の注目の5月消費者物価指数(CPI)の発表では、前年比で弱めの数字となったことで発表後債券買いが強まったが、その後は売り優勢へと反転し、引け近辺まで上昇基調となった。午後には発表された30年物国債の入札は堅調となったが、明日にFOMC発表を控え影響薄。

【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。

海外時間に予定されるFOMC会合を控え、基本的には様子見ムードとなりやすいと考えるが、140円台前半は今日に入り複数回押し戻されている水準でありイベントを前にして調整が入りやすいかと予想。

【本日の予定】

(アジア) 1Q NZ 経常収支
(アジア) 4月 フィリピン 海外フィリピン労働者送金
(アジア) 5月 NZ 食料品価格
(アジア) 5月 インド 卸売物価
(アジア) 5月 韓国 失業率
(アジア) 5月 韓国 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(欧州) 4月 ユーロ圏 鉱工業生産
(欧州) 4月 愛 不動産価格
(欧州) 4月 英 GDP
(欧州) 4月 英 貿易収支 / 建設業生産高
(欧州) 4月 英 鉱工業生産 / 製造業生産 / サービス業指数
(欧州) 独 国債入札(10Y)
(米国) 5月 PPI
(米国) FOMC
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ハウエルFRB議長会見

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。